



第2回まちづくり交付金事後評価委員会

# 宇都宮中央地区の事後評価について

平成21年11月20日

総合政策部 地域政策室





# (1) 地区のまちづくりの経緯について





# 地区のまちづくりの経緯について



## 当初計画（平成17年3月）

事業	事業名	内容
道路	都心部道路景観整備事業	市道6号線（御橋通り）ほか4路線
	自転車走行環境の創出	市道886号線, 市道1137号線
	交差点部の段差解消	
公園	八幡山公園	
地域創造支援事業	新規開業の支援育成	チャレンジショップ事業
	中心商店街の活性化	中心商業地出店等促進事業 等
	レンタサイクル事業	
	宇都宮城址公園 モニュメント整備	櫓（清明台, 富士見櫓） 等





# 地区のまちづくりの経緯について



## 第1回計画変更（平成17年11月）

事業	事業名	内容
地域生活基盤施設	オリオン市民広場	
	公共サイン	
高質空間形成施設	バンバ市民広場カスケード	
	宇都宮城址公園	緑道修景施設、櫓のライトアップ照明、大型バス駐車場
高次都市施設	宇都宮市民プラザ	ゆうあいひろば など
地域創造支援事業	若年夫婦世帯家賃補助	
	宇都宮市民プラザ	バンバ出張所 など

## 第2回計画変更（平成19年3月）：事業費の精査

## 第3回計画変更（平成19年8月）

事業	事業名	内容
高次都市施設	築瀬地区コミュニティセンター	

## 第4回計画変更（平成20年3月）：事業費の精査





# 地区のまちづくりの経緯について



## 第5回計画変更（平成21年3月）

事業	事業名	内容
地域生活基盤施設	ポケットパーク【削除】	
高質空間形成施設	宇都宮城址公園 土塁内施設整備【削除】	
地域創造支援事業	多目的施設景観整備【削除】	

## 第6回計画変更（平成21年8月）

- ・ 事業費の精査
- ・ 目標を定量化する指標の変更





# 地区のまちづくりの経緯について



## 【指標の変更】

### 第6回計画変更（平成21年8月）

当初計画（H17. 3）における指標		現計画（H21. 8変更）における指標
商店数	→	事業所数
売上高	→	従業者数
通行量		通行量
居住人口		居住人口
居住志向の住民の割合		居住志向の住民の割合





## (2) 事後評価について





# ①方法書について



## 方法書とは…

事後評価の実施にあたり、『成果の評価』『実施過程の評価』等について、  
時期・作業内容・方法をあらかじめ設定し、  
事後評価を円滑に進めるための『評価の実施計画書』。

### ☆ 評価の見直し点

○ 推計値で評価予定 ⇒ **確定値で評価**

『通行量』『居住志向住民の割合』… 平成21年11月公表

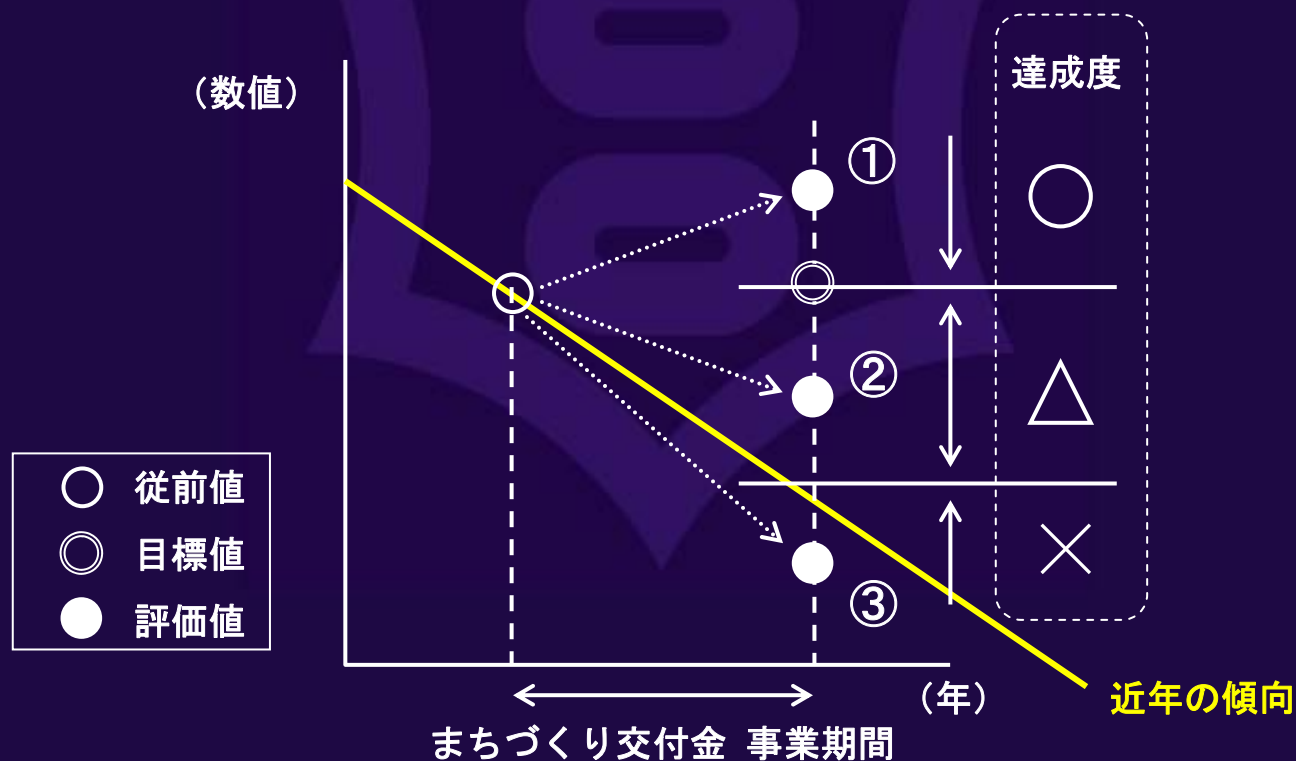




## ②成果の評価について

### 評価判定基準

評価の基準	達成度
①評価値が目標値を上回った場合	○
②評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×



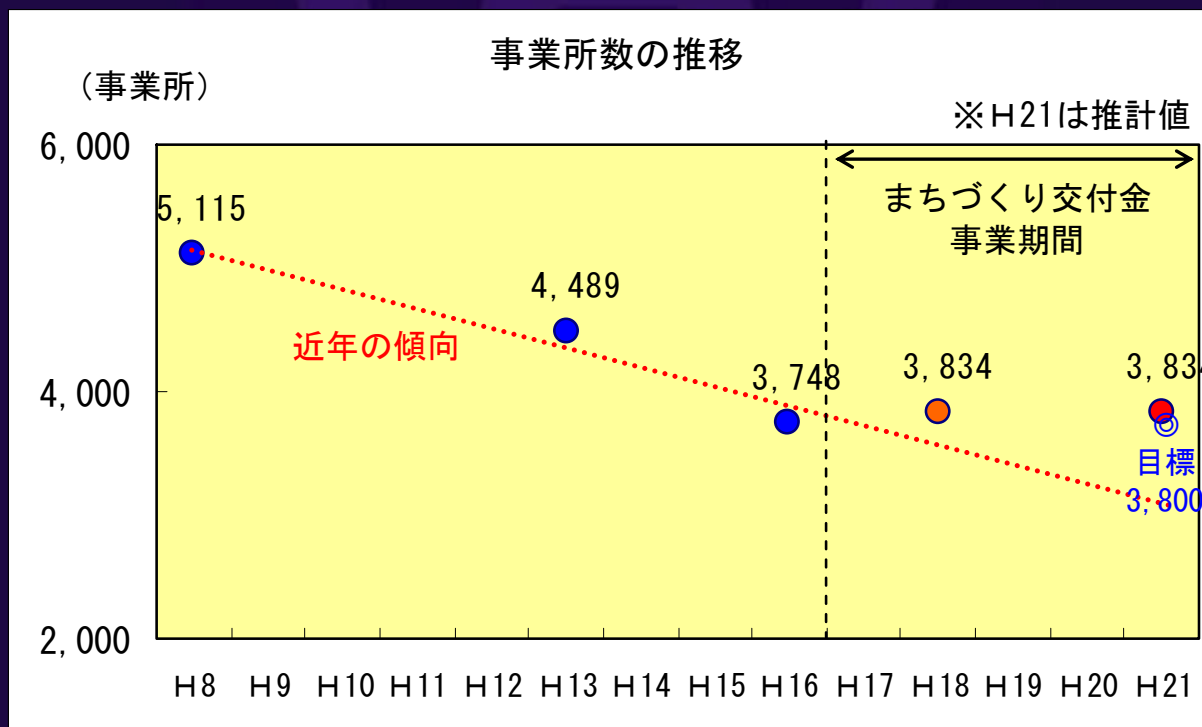


## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【指標 1 : 事業所数】

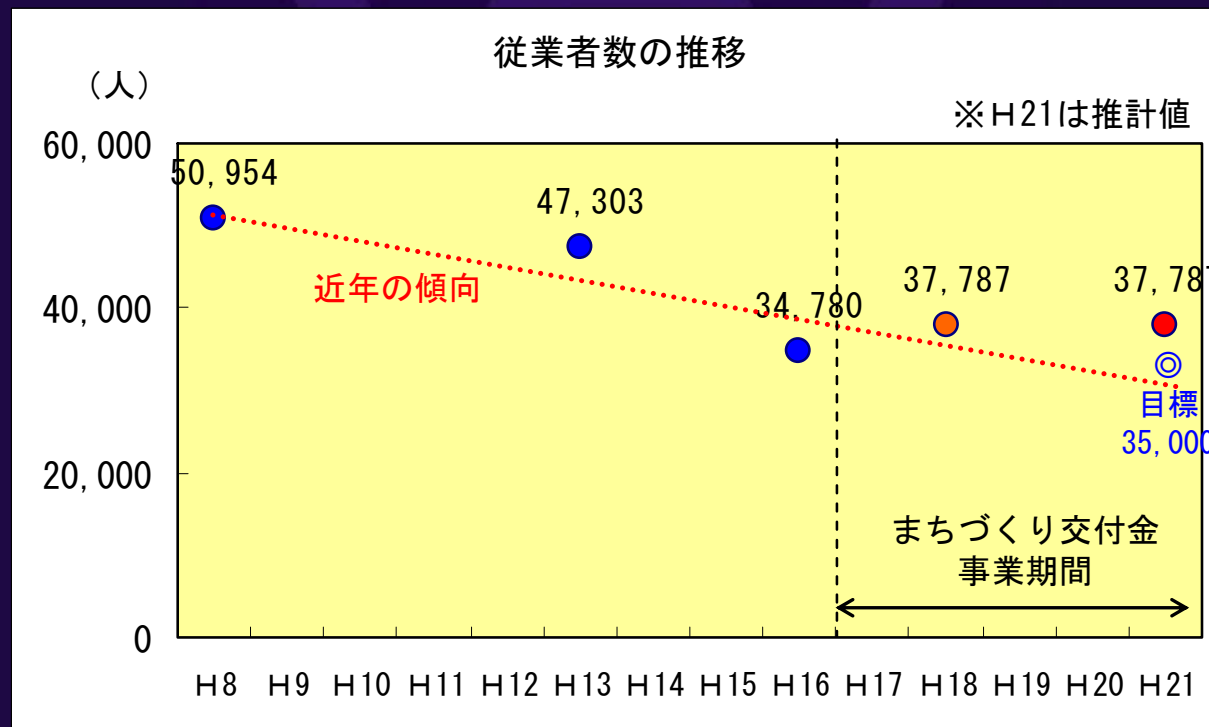
指 標	単位	従前値 (H16)	目標値 (H21)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
事業所数	事業所	3,748	3,800	3,834	○	



## ②成果の評価及び③効果発現要因について

### 【指標 2 : 従業者数】

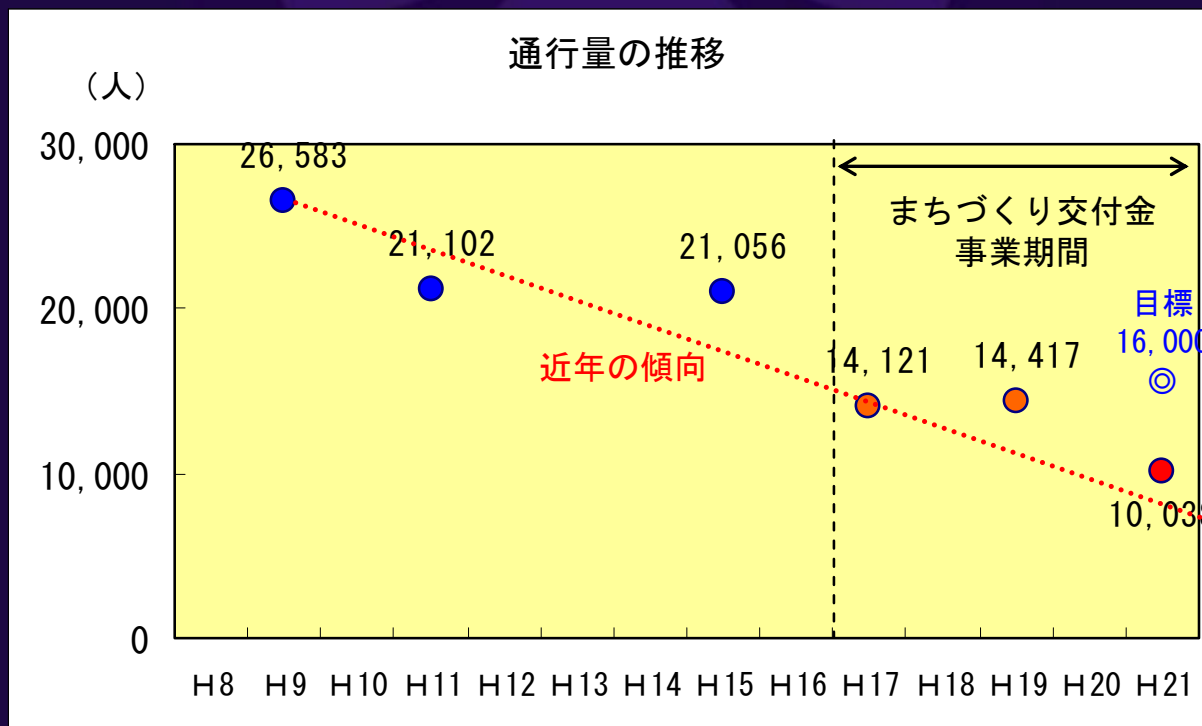
指 標	単位	従前値 (H16)	目標値 (H21)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
従業者数	人	34,780	35,000	37,787	○	



## ②成果の評価及び③効果発現要因について

### 【指標 3 : 通行量】

指 標	単位	従前値 (H16)	目標値 (H21)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
通行量	人	15,679	16,000	10,038	△	なし





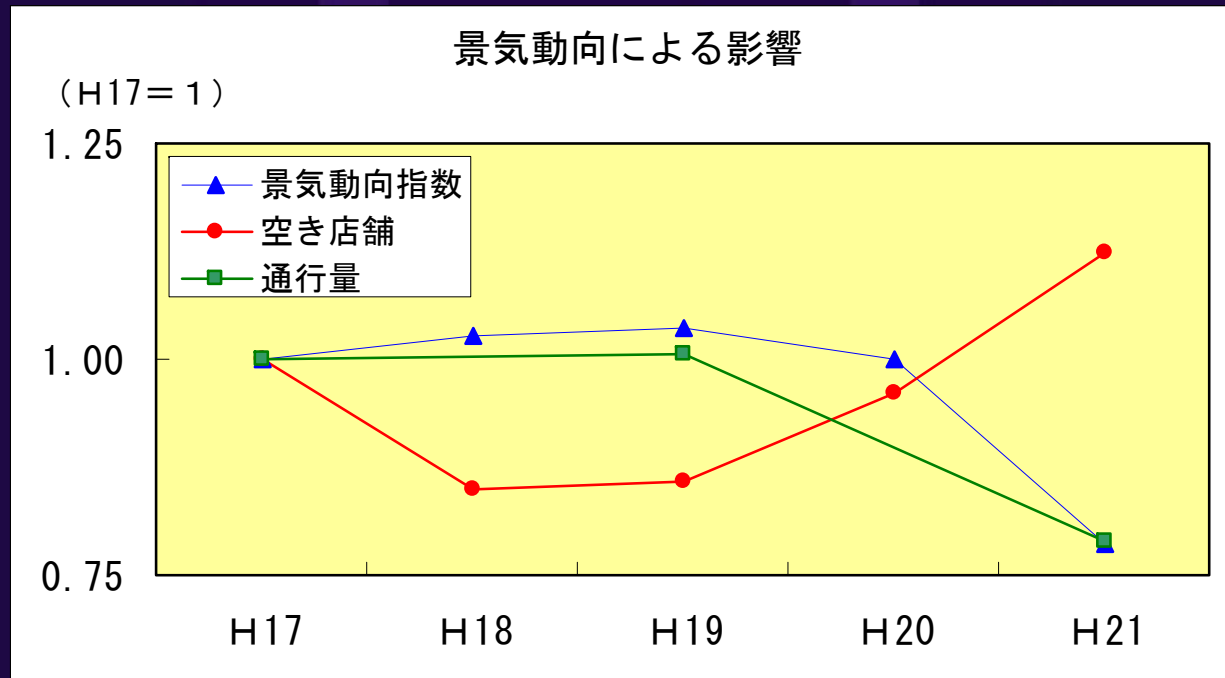
## ②成果の評価及び③効果発現要因について



参考：景気動向による影響について

		H17	H18	H19	H20	H21
景気動向指数 (栃木県)		100.0 (1.000)	102.8 (1.028)	103.5 (1.035)	100.1 (1.001)	78.7 (0.787)
空き店舗数	店舗	106 (1.000)	90 (0.849)	91 (0.858)	102 (0.962)	119 (1.123)
通行量	人	232,612 (1.000)	—	234,015 (1.006)	—	183,433 (0.789)

注) 括弧内はH17=1とした時の値



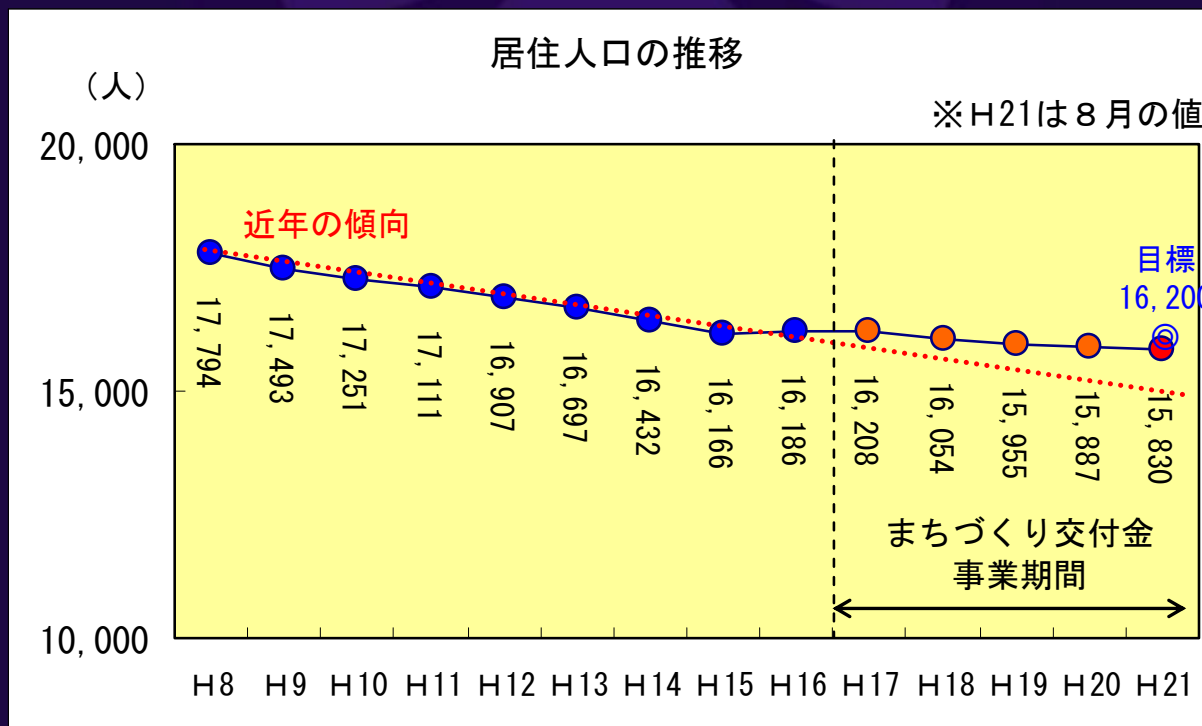


## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【指標4：居住人口】

指標	単位	従前値 (H16)	目標値 (H21)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
居住人口	人	16,186	16,200	15,830	△	あり



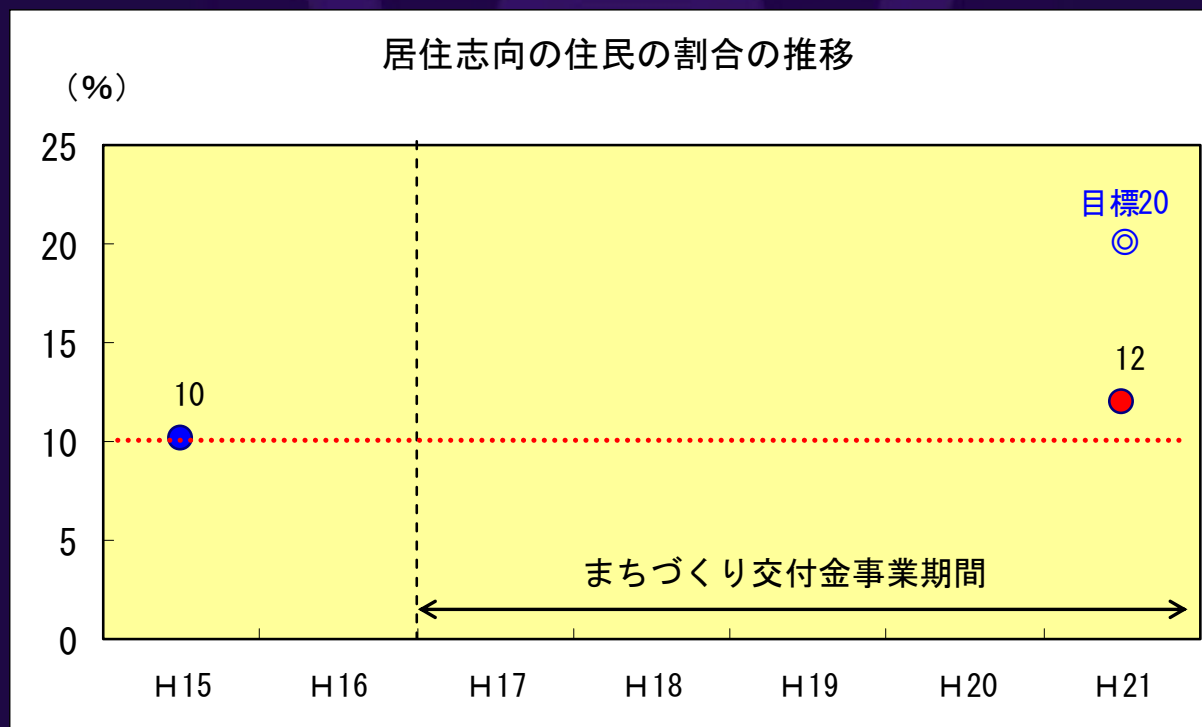


## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【指標5：居住志向の住民の割合】

指標	単位	従前値 (H15)	目標値 (H21)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
居住志向の 住民の割合	%	10	20	12	△	なし



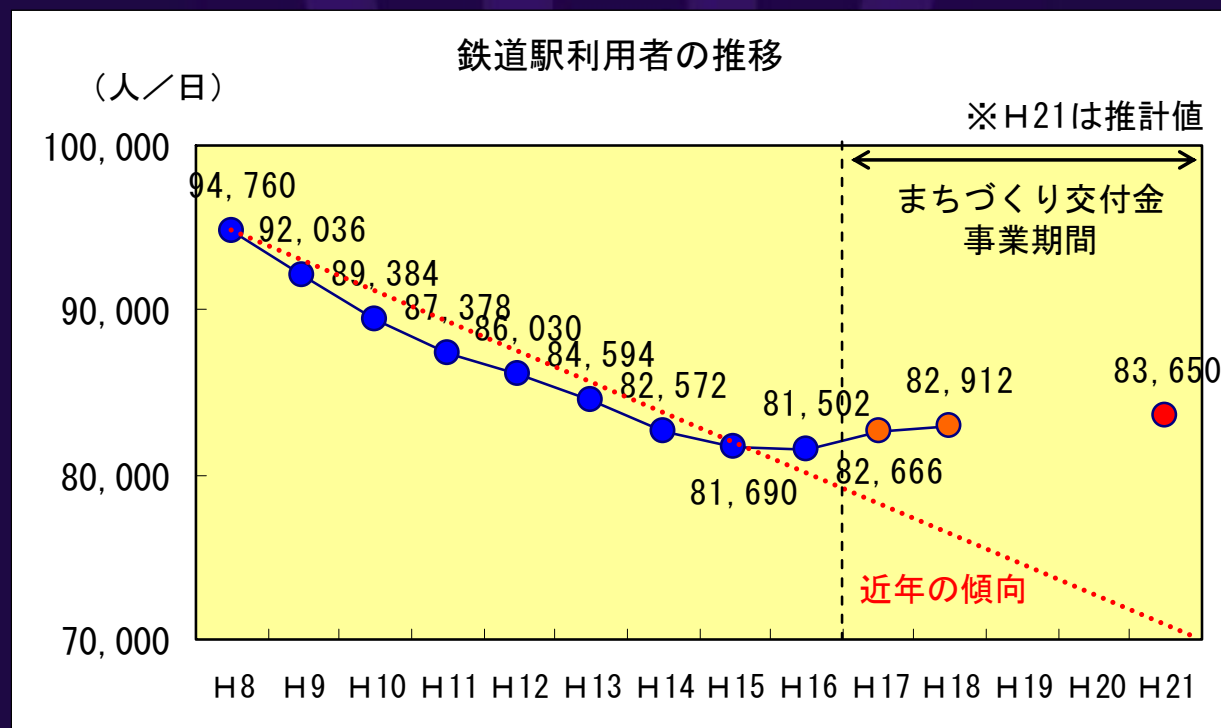


## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【その他の指標 1：鉄道駅乗降客数】

指標	単位	従前値 (H16)	目標値	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
鉄道駅 乗降客数	人/日	81,502	---	83,650	---	---





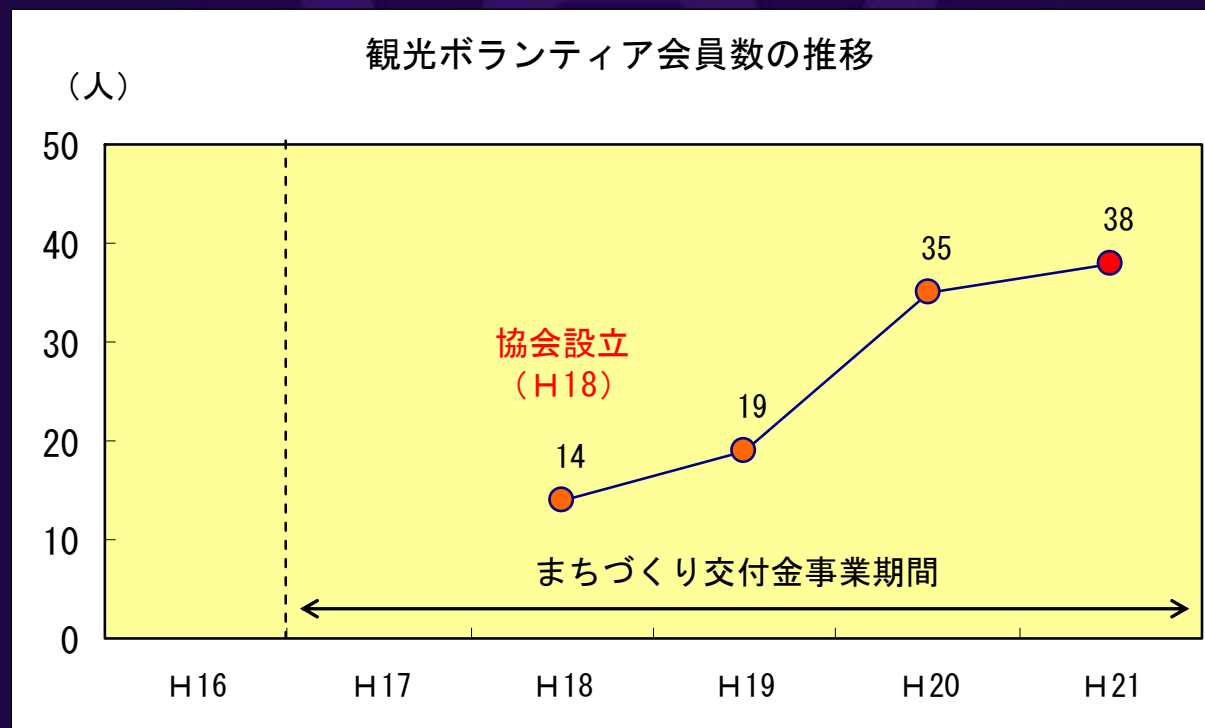


## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【その他の指標 2 : 観光ボランティア会員数】

指 標	単 位	従前値 (H16)	目標値	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
観光ボラン ティア会員数	人	---	---	38	---	---





## ②成果の評価及び③効果発現要因について



### 【定性的な効果発現状況】

- 多目的広場（オリオン市民広場）や宇都宮城址公園、バンバ市民広場等におけるイベント開催など、市民や商店街による賑わいの創出が図られている。
- 市民のまちづくりへの意識が高まり、オリオン市民広場内交流施設（オリオンステーション）、城址公園（歴史資源）が、観光ボランティア等の活動の場としても利用されている





## ④実施過程の評価について



### □モニタリング

H21年度にモニタリングを実施

①事業の進捗状況、②指標の達成状況・見込み等の確認、③今後の対応方針等を検討

### □住民参加プロセス

- ・みちづくり勉強会（都心部道路景観整備事業）
- ・イルミネーション事業など（魅力ある商店街等支援事業）
- ・『よみがえれ！宇都宮城』市民の会（宇都宮城址公園整備）

### □持続的なまちづくり体制の構築

- ・『よみがえれ！宇都宮城』市民の会
- ・宇都宮シティガイド協会（観光ボランティア）





## ⑤事後評価原案の公表について



公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法
インターネット	市ホームページに原案掲載	平成21年10月 1日～14日 (2週間)	平成21年10月 1日～14日 (2週間)	地域政策室(担当課窓口), 担当課への意見書提出のほか, 電話, FAX, 電子メールにより受付
広報掲載・ 回覧・ 個別配布	市広報誌に原案公表に係る情報を掲載している旨を掲載	平成21年10月 1日号	平成21年10月 1日～14日 (2週間)	





### (3) 今後のまちづくりについて





# 今後のまちづくり方策について



## 【まちの課題の変化】

- 事業所数、従業者数の減少傾向に歯止めがかかり、産業の衰退に改善の兆しがみえてきたが、中心商業エリアでは依然として空き店舗数が増加傾向にある。
- 中心商業地のメイン通りの通行量は事業期間中に一次微増に転じたが、近年の経済情勢の変動もあり、いまだ通行量は減少傾向にある。
- 居住人口は減少傾向に歯止めが掛かりつつあるが、賑わい創出のためには、今後は居住人口の増加を図っていく必要がある。
- 中心市街地への居住志向が微増している。
- 鉄道やバスとともに、自転車も含めた環境負荷の小さな公共交通の利用促進を図り、過度な自動車依存からの脱却を図る必要がある。
- 中心市街地に愛着を感じる傾向が低く、まちの没個性化が中心市街地の衰退の要因となっている。





# 今後のまちづくり方策について



## ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成

### 1. 中心商業地の再生

中心商業エリアでは依然として空き店舗が増加傾向にあることから、中心商業エリアの再生を図るため、エリアの魅力を高め集客力の増強を図る

### 2. 来街者の増加

通行量は依然として減少していることから、中心市街地の賑わいの源である来街者を増加させ、そして回遊性を高めるため、市民や団体等と連携した面的な賑わい創出に取り組む

### 3. 居住人口の増加

居住人口の減少傾向に歯止めはかかりつつあるが、高齢化の進展や少人数世帯の増加も進んでいることから、賑わいの源である居住人口を増加させるため、生活空間の形成によるさらなる都心居住の促進を図る

### 4. 過度な自動車依存からの脱却

過度な自動車依存の脱却を図り、多様な交通手段によるアクセス性向上、自転車も含めた公共交通等の利用促進による、環境にやさしいまちづくりに取り組む。

### 5. 個性の創出

中心市街地への愛着を感じる傾向が低く、まちの没個性化が中心市街地の衰退の要因となっていることから、地域の資源を活用した個性と楽しさが溢れる中心市街地を創出する。

